

「選ばれるまち」の実現に向けて

企画政策課 ☎(88)9111

市では、平成30年度からスタートした第8次総合計画「須賀川市まちづくりビジョン2018」に基づき、まちづくりに取り組んでいます。今月号では、令和3年度の主な施策の進捗状況についてお知らせします。

政策 1 いきいきと人が輝くまちづくり**幼児教育・保育の充実**

3～5歳児を対象とした市独自の給食費無償化を継続しています。また、子どもが病気になり集団保育や家庭保育が困難な場合に、一時的にその児童を保育する事業者を支援し、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいます。



仁井田幼稚園での給食の時間

学校教育の推進

デジタル教科書やデジタル教材を活用できる環境を整備し学習意欲を高めるなど、分かりやすい授業を行っています。また、ICT支援員を配置し、ICT機器をスムーズに活用できるように支援しています。



タブレットを使ったプログラミングの授業

政策 2 笑顔で健やかに暮らせるまちづくり**地域医療体制・制度の充実**

公立岩瀬病院などの運営支援を行い、安定した地域医療体制の確保を推進しています。また、新型コロナウイルス感染症対応の地域外来を公立岩瀬病院敷地内に設置して、感染拡大防止に努めています。



3回目が始まった新型コロナウイルスワクチン接種

福祉ネットワークの推進

「福祉まるごと相談窓口」で、福祉に関わる様々な相談を受け付け、困りごとなどの解決を支援しています。また、障がい者、高齢者、ひきこもりがちな人や子どもたちなどに、居場所を提供する団体を支援し、福祉ネットワークの充実を図っています。

政策 3 安全に安心して暮らせるまちづくり**自治会活動の活性化**

自治会活動の重要な拠点である集会所の整備費用や、町内会などが行う地域独自の取り組みに掛かる経費を補助し、地域コミュニティ活動の活性化に取り組んでいます。

地域防災力の向上

災害時における地域の防災力向上のため、防災士の資格取得を支援しています。

治水・浸水対策の推進

台風やゲリラ豪雨などに備え、ポンプ設置箇所の整地工事を行うなど、内水排水処理対策の強化に取り組んでいます。

政策 4 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり**空家対策**

空家の実態調査を行い、市内の現状を把握するとともに、解体補助や空家バンク制度により、空家の解消と利活用に取り組んでいます。

須賀川駅西地区の整備

東西幹線道路の築造工事と東西自由連絡通路や駅西広場の整備を計画的に進めています。また、地域住民や高校生などによる「まちづくりワークショップ」を開催し、駅周辺のにぎわい創出に取り組んでいます。



須賀川駅周辺地区まちづくりワークショップと、そこで企画した「スカイランタンin須賀川」

その他の主な事業**シティプロモーションの推進**

市民のシビックプライド醸成につなげるための冊子を作成し、市内全戸に配布しているほか、郷土の偉人である「二人の円谷」の顕彰事業やタイアップ事業を、年間を通して行っています。また、子育て情報誌で市の魅力のピーアールや移住者への住宅取得支援など、移住定住政策とも連動しながらシティプロモーションを進めています。



全戸配布した「須賀川事典-特撮編-」とリニューアルした「円谷幸吉メモリアルホール」

政策 5 活力とにぎわいあふれるまちづくり**企業誘致の推進**

本市の立地環境の優位性や利便性、全国トップクラスの企業立地支援制度をピーアールし、企業誘致を推進しています。また、空き工場などを活用して操業する事業者を支援しています。

農業経営の安定確保

新規就農者に対し営農確立に必要な資格取得や技術習得など、就業しやすい環境を整備しています。また、きゅうりなどの産地力向上のため、生産体制の強化や集出荷機能改善を行う団体などを支援しています。



モモ、ナシ、リンゴなどの選果作業が行われる「あぐりフルーツ館」

観光誘客の推進

温泉と、食や文化・観光資源など、地域の魅力を組み合わせた「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」やウルトラマンの故郷「M78星雲 光の国」との姉妹都市提携イベントなどを開催し、観光振興に取り組んでいます。



個人でできる身近な取り組みや市で行っているSDGs推進事業などを紹介します。
☎企画政策課(88)9111



●ゴール13「気候変動に具体的な対策を」
近年、これまで経験したことのない災害が地球規模で発生しています。日本でも1時間に50mmを超える激しい雨の年間発生回数が30年前と比べて約1.5倍になるなど、災害への備えが一層求められています。

私たち一人ひとりができることって？

「自分が住んでいる地域で災害が起きたらどう行動すべきか」などと、災害を自分事として考え、備えることが大切です。ハザードマップを確認し、身の回りの危険な場所、避難所、避難経路などを確認しておきましょう。

また、非常用持ち出し品や非常用備蓄品を準備しておきましょう。

市では、防災士の資格を取得した人に対し「防災士資格取得補助金制度」を設けています。災害に強い地域づくりに向け、地域防災のリーダーとなる防災士を目指してみませんか。

